

真誠

学校だより

No.6

西東京市立
田無小学校

令和4年
9月30日

子供とかわわるとき

副校長 藤本 知子

「可愛くば 五つ教えて 三つほめ
二つ叱って よき人とせよ」

本校にも銅像がある二宮尊徳（金次郎）の言葉といわれています。こんな古歌を読むと、思わず微笑んでしまいます。江戸時代にかごをかついでいた時代から宇宙にロケットで行けるようになった時代になっても、子育てに関する考えは、古往今来変わりがなく不易なものであるという思いがするからです。

わが子は、当然かわいいものです。しっかりとしてほしいという思いから、ついつい注意したり、叱ったりすることが多くなりがちです。しかし、二対三という叱ることとほめることのバランス、五対五という教えることと学ぶことの割合、これは妙味といえます。叱りすぎ、ほめすぎ、そして一方的な教えすぎではいけないということです。

なかでも、叱るといふことは、とても慎重に行う必要があります。今回は

好ましくない叱り方のいくつかを拾ってみます。

まずは、「暴力型」。叩かれたり、怒鳴られたりでは、痛くてこわいだけで、何が悪かったか反省する暇もなさそうです。残るのは恐怖心や反抗心ということになってしまいます。時間をかけ過ぎ、うんざりするのが「皮肉型」です。これもやりきれません。

「○さんは…」から始まって、同じクラスの子や隣近所、時には日本中の代表、さらに歴史上の人物までを引きあいに出して叱るのが「比較型」。奮発心より失望感が先に立ちます。

そうかと思うと、これまでの罪状を並べたてる「陳列型」、時と場合で、叱ったりほめたり、筋の通らない「矛盾型」などがあります。

ほめる方も、歯の浮くような言葉かけ、しつこいほめ方、あまりにも赤ん坊扱いのおだて方などはかえって馬鹿にされてしまいます。

頑張っている子供に対して「よく勉強しているね」と声に出さなくても、

校長先生であれば廊下をそっと通り抜け、先生方であれば机間を歩きノットと子供の眼をみて、保護者の方々であればにっこり笑顔で、「うん」とひと声うなずくだけでも、子供たちに十分満足を与えられることでしょう。

大人でもほめられると嬉しいものです。ましてや、子供なら、なおさらです。タイミングよく、的確に、しかも愛情をもち、心を込めてするのが叱り方、ほめ方のコツです。

これから秋が深まってきました。子供とのふれあいが、最も長い時間になるでしょうから……。



◆体育学習公開の保護者入退場について

公開に伴う校庭への入場は、時間差でのご案内となります。正門よりお入りいただき、西門よりご退場いただきます。ご兄弟関係があっても、一つの学年が終わるごとに、一度西門より退場をしていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。また、駐輪場の用意がないため、自転車、バイク、車での来校は固くお断り申し上げます。

31月	29土	28金	27木	18火	13木	12水	11火	10月	7金	6木	5水	4火	3月	十月の主な行事予定
振替休日	体育学習公開	水曜時程・5時間授業 学年表現鑑賞日		就学児検診 土曜時程・午前授業	午前授業 研究授業	午前授業	クラブ活動	スポーツの日	移動教室（6）終	移動教室（6） 歯科衛生指導（1）	移動教室（6）始	水曜時程・5時間授業 安全指導	避難訓練・煙体験 委員会	

◆今月のスクールカウンセラー来校日◆

4日(午後のみ)、14日、21日、28日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902（相談室直通）または学校に連絡してください。

